

# 「プレゼントの値段」

～お金は限られている、お金にはいろいろな使い道があるということをプレゼントの値段から考える～

## プログラム

所要時間	内容
10分	・導入 ・フォトランゲージ
25分	ワークショップ「プレゼントの値段」 ・プレゼントの値段を思い出す ・家計表の事例を見る ・商品を選ぶということは、どういうことなのかを知る
10分	・まとめ、初心者マーク宣言 ・アンケート

講座風景



ワークショップで記入した用紙



初心者マーク宣言

### 受講生のアンケートより（原文のまま記載）

- ・六年のときのしゅう学旅行で、買い物を買ったりするけど、ちゃんと自分で、いいものを買っていける消費者になりたいです。
- ・やすいからと言ってやすいものをざつに使わないようにしたいです。自分のため、みんなのためにも、お金をおだづかいしないようにしたいです。
- ・なんでも買っていいわけじゃないんだ！と思いました。か金のためにお金を使うのは、もったいないと思いました。
- ・お父さんやお母さんが一生けん命働いてもらっているお金だからこれからもお父さんお母さんのお金を大切に上手にかちのあるお金の使い方を心がけていきたいとおもいました。
- ・今日の授業で、これから使う「お金」について、どんなふうに使っていけば良いのかが知れて役に立つ授業になって良かったなあとと思いました。
- ・限られたお金の使いみちという観点でとても分かりやすく教えて頂きました。普段、自分のほしい物しか見えていない子どもたちにとって、価値のあるお金の使い方を考える機会につながったことと思います。（教師）